

100年前の横浜で活躍した女性ジャーナリスト エリザ・シドモアを称える  
横浜港出航100周年記念

# カクテルとジャズの夕べ

2012.  
2.14

シドモア桜100周年・里帰りを喜ぶ市民の会

特別講演

## 桜による街づくり 山路清貴氏

(早稲田大学芸術学校講師)

同時開催 日本郵船「阿波丸」関連写真展

横浜に深い所縁のある一人のアメリカ人女性旅行作家エリザ・シドモア女史。2012年は、彼女の情熱と尽力によって、日本の桜がアメリカに向けて横浜港を1912年2月14日に出發し、同年3月27日、首都ワシントンDCを流れるポトマック河畔に植樹されて100年目という大きな節目にあたります。

市民の会では、植樹99年目の記念日に当たる昨年3月27日の発足以来、桜の寄贈・植樹を現実のものとしたシドモア女史の偉業を称え、日米友好のシンボルとなった桜を通じた日米交流100周年を横浜から盛り上げるとともに、ポトマックから里帰りした桜を広く横浜市民にも親しんでもらうことを目的にさまざまな事業展開を図っております。

駐横浜アメリカ総領事だった兄を持つシドモア女史は現在、母親と兄と共に山手にある横浜外国人墓地に眠っていますが、同女史にとって所縁のある横浜は、実は「バンブー」「ミリオンダラー」「ヨコハマ」「チェリーブロッサム」といった著名なカクテルが誕生した地でもあります。そこで、当市民の会ではこのたび、社団法人横浜バーテンダー協会横浜支部のご協力の下、来る本年7月に同協会主催により予定されている横浜カクテル・コンペティションへの参画を通して、シドモア女史をイメージしたカクテル作りに取り組み、後世に残るような横浜の新たな名物として「シドモア・カクテル」を広く周知し、親しんでいただこうということとなりました。

現在の横浜植木株式会社によって梱包された桜が日本郵船「阿波丸」でアメリカに向けて横浜港を出發して100年目の記念日となる来る2月14日、下記により記念の「カクテルとジャズの夕べ」を開催し、「シドモア・カクテル」創作に向けた第一歩としたいと存じますので、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、当日は専門家による「桜による街づくり」についての講演と、桜を横浜から搬送した日本郵船の阿波丸関連写真展のほか、横浜発祥のカクテル試飲等、盛りだくさんの内容となっております。

## 横浜港出航100周年記念「カクテルとジャズの夕べ」

- 日時 2012年2月14日(火)午後6時30分~同8時半(受付開始:午後5時30分)  
会場 横浜メディア・ビジネスセンター1階(横浜市中区太田町2-23、駐車場はございません)  
参加費 5,000円(税込み)※立食ビュッフェ形式  
お申込 裏面申込書にご記入のうえ2月10日(金)までにFAXにてお申し込みください。  
FAX番号:045-325-8123 \*Emailの場合はFAX用「参加申込書」に記載の必要事項をれなくご入力 of うえ、ikuko.tomonari@gmail.com までご返信ください。  
振込先 ゆうちょ銀行(口座名義:シドモア桜100周年里帰りを喜ぶ市民の会)  
(口座記号・番号:00280-2-54082)  
【他銀行からのお振込の場合】店名:〇二九(ゼロニキュウ)店、店番:029、当座預金:0054082  
主催 シドモア桜100周年・里帰りを喜ぶ市民の会  
協力 社団法人日本バーテンダー協会横浜支部 横浜日米協会  
連絡先 横浜市中区野毛町2-94 喫茶コロンビア内事務局 電話:045-315-2006